

## 経済レポート

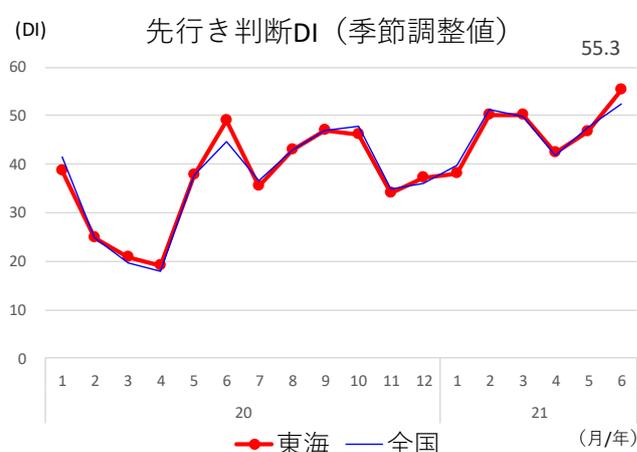
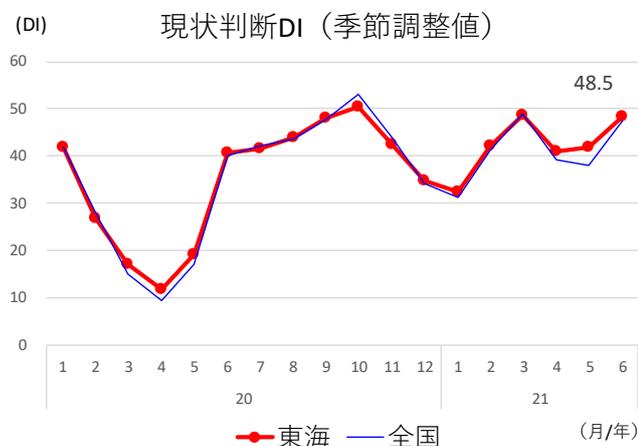
## 景気ウォッチャー調査(東海地区:2021年6月)

～緊急事態宣言解除(6月)とワクチン接種の進展により、DIは現状、先行きとも上昇～

調査部 主任研究員 塚田裕昭

- 7月8日に内閣府が公表した「景気ウォッチャー調査」によると、東海地区の6月<sup>1</sup>の

**現状判断DI(季節調整値)は、前月差+6.7ポイントの48.5と2ヶ月連続で上昇した。  
先行き判断DI(季節調整値)は、前月差+8.7ポイントの55.3と2ヶ月連続で上昇した。**



- 当社では、東海地区の景気ウォッチャーの見方を

**6月の緊急事態宣言解除、ワクチン接種の進展により持ち直しの動きがみられる。先行きについては、ワクチン接種が進むことによる改善が期待されている。**

とまとめた。

(前月のまとめ)

「新型コロナウイルス感染症再拡大が続く中、景況感はほぼ横ばいとなっている。先行きについては、ワクチン接種が進むことによる改善が期待されている。」

- 内閣府では、全国調査での景気ウォッチャーの見方を

**景気は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさは残るものの、持ち直している。先行きについては、感染症の動向を懸念しつつも、ワクチン接種の進展等によって持ち直しが続くとみている。**

とまとめている。

(前月のまとめ)

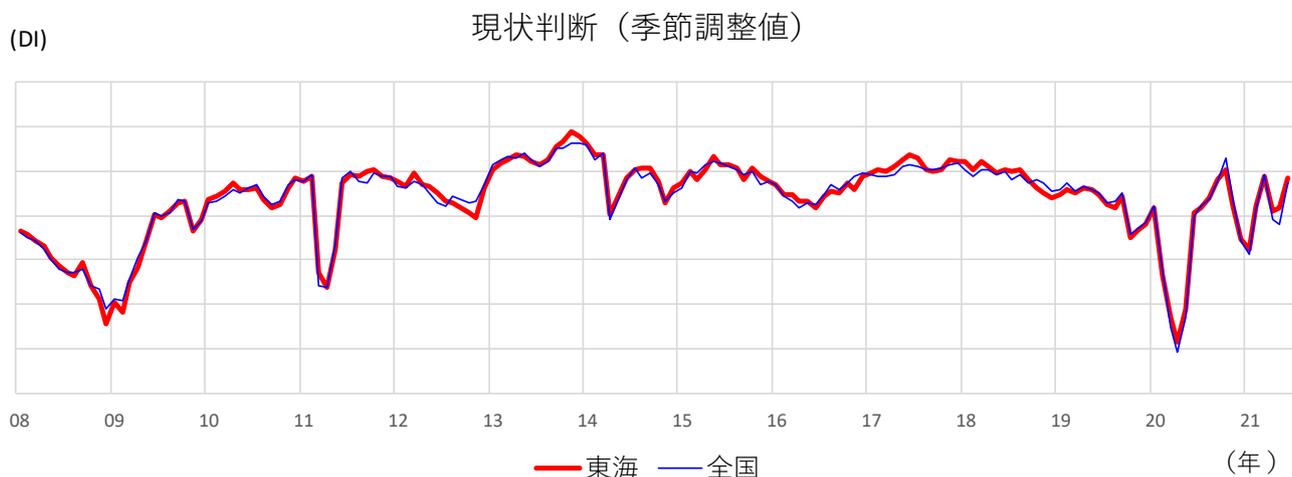
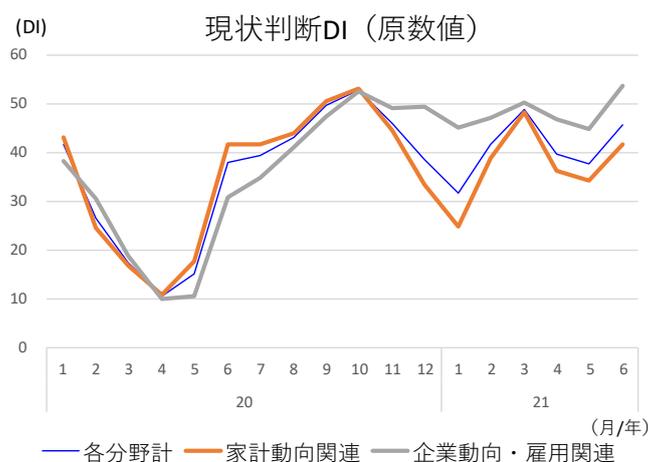
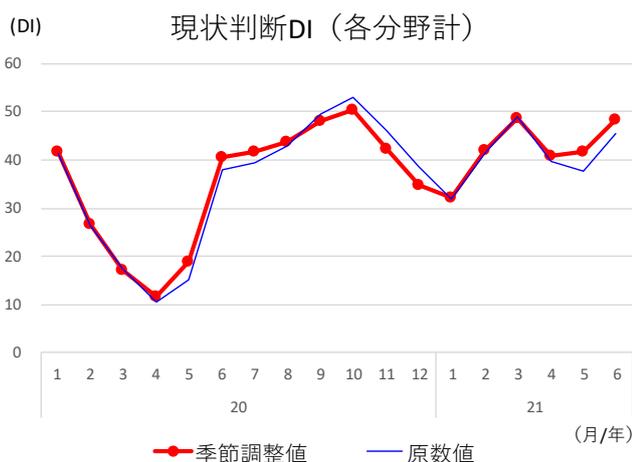
「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさが残る中で、持ち直しに弱さがみられる。先行きについては、感染症の動向を懸念しつつも、ワクチン接種の進展等による持ち直しへの期待がみられる。」

<sup>1</sup> 調査期間は毎月25日～月末

## 1. 景気の現状判断(3ヶ月前との比較、方向性)

### (1) DIの動向

- 3ヶ月前と比較しての景気の現状に対する判断DI<sup>2</sup> (季節調整値)は、前月差+6.7ポイントの48.5と2ヶ月連続で上昇したが、横ばいを示す50を8ヶ月連続で下回った。6月20日、愛知県を含む10都道府県で出されていた緊急事態宣言が、沖縄を除く9都道府県で解除された。このことに加え、ワクチン接種が進んでいることが景況感の改善につながった。
- 部門別に見ると(原数値)、家計動向関連(小売、飲食、サービス、住宅関連)DIは、同+7.6ポイントの41.8と3ヶ月ぶりに上昇したが、横ばいを示す50を8ヶ月連続で下回った。また、企業動向関連と雇用関連からなるDI<sup>3</sup>は、同+9.0ポイントの53.7と3ヶ月ぶりに上昇し、横ばいを示す50を3ヶ月ぶりに上回った。



<sup>2</sup> 本調査のアンケート・サンプル総数は233、うち家計関連158、企業・雇用関連75。以下、先行き判断についても同様。

<sup>3</sup> 企業動向関連と雇用関連からなるDI (原数値)は、内閣府HPに掲載されている地域別の各分野合計値から家計動向関連の値を除いた上で、「景気ウォッチャー調査」のDI算出方法に従って当社調査部にて試算した。

## (2) 現状判断理由の概要

(注) コメント引用部左側の記号は以下の通り

◎:良くなっている、○:やや良くなっている、□:変わらない、▲:やや悪くなっている、×:悪くなっている

### 【家計動向関連】

- 愛知県で出されていた緊急事態宣言が6月下旬に解除されたことや、ワクチン接種が進んでいることが景況感の改善につながった。

◎	コンビニ (商品企画担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進行とともに緊急事態宣言の解除によって、客足が戻りつつある。
○	百貨店 (経理担当)	・緊急事態宣言が解除されたことによって、明らかに人流が増加しており、外食やレジャーに対する消費マインドは上向いているように感じる。
○	乗用車販売店 (営業担当)	・ワクチン接種が始まっていることに加え、商品の入荷が回復してきたこともあり、少しずつ客の購買意欲も回復しつつある。来客数も少しずつだが戻ってきている感がある。

- 緊急事態宣言が解除となっても、飲食、宿泊などの業種では依然厳しい状況が続いている。

▲	高級レストラン (経営企画)	・6月中旬に緊急事態宣言の解除とはなったが、アルコール提供時間の制限、時短要請が残るまん延防止等重点措置のなかでは回復が難しい。また、規制に違反して繁盛する店があることに不公平感が残る。
▲	観光型ホテル (経営者)	・3か月前は春休みということもあり、コロナ禍ではあるが家族客中心に来客があった。6月に入ってから、当地は対象地域ではないが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などでマスクのネガティブキャンペーンのもと、印象が悪いということで、不要不急の外出を控えるなどかなり影響を受け、大きく需要が減少傾向にある。したがって、悪い状況が続いている。

### 【企業動向・雇用関連】

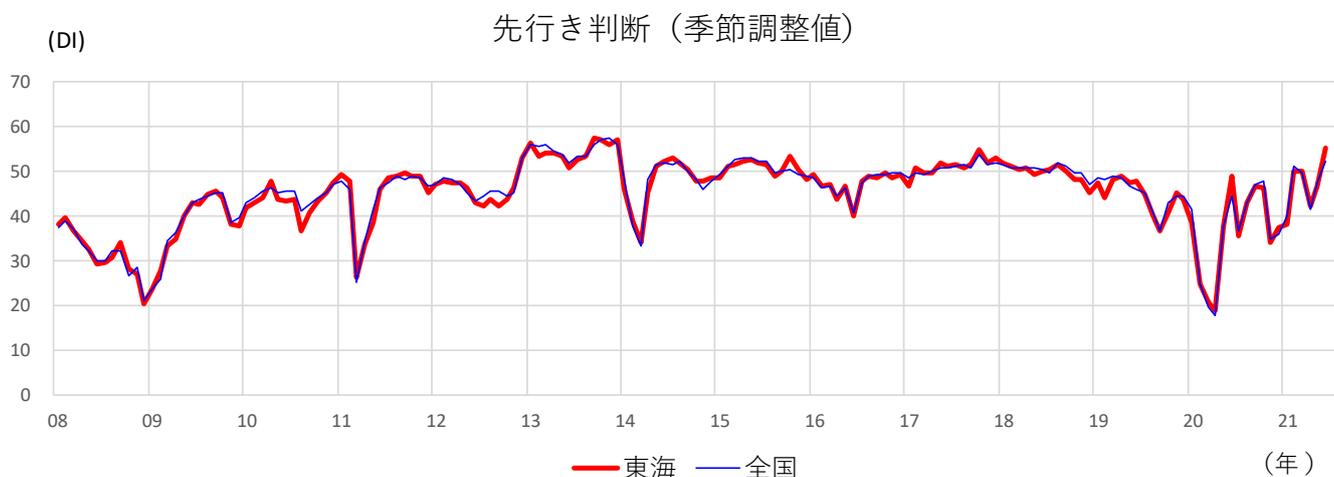
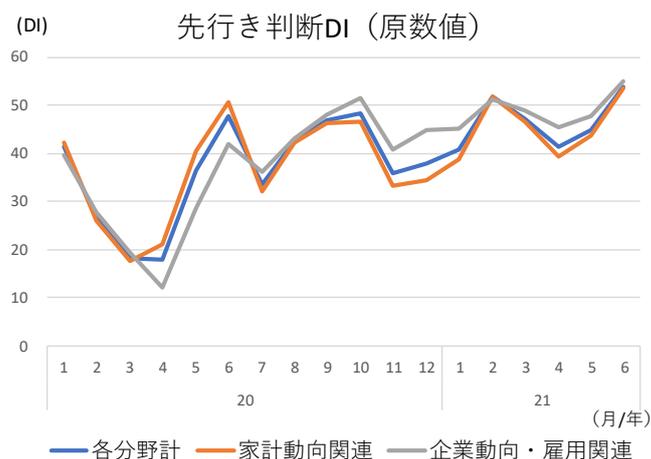
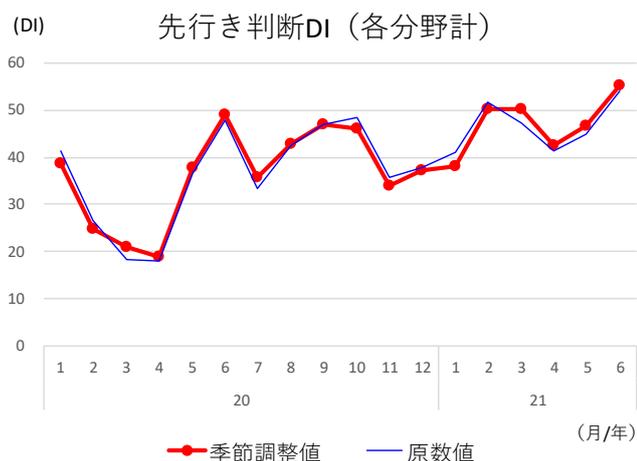
- 企業動向・雇用関連は、好調な外需に支えられ家計部門に比べ改善が進んでいる。DI (現数値) も 50 を超え、以前より良くなっているとの声が優勢となっている。

○	一般機械器具製造業 (営業担当)	・北米、アジアの自動車向け設備投資が好調で、引き合いが急激に増えている。
○	輸送業 (従業員)	・少しずつだが荷主からの引き合いは増えている。6月になってから7月の依頼が続々入ってきているので、荷主側が、今までの遅れをこの夏にばん回するかのような動きになってきている。
○	人材派遣会社 (営業担当)	・エンジニアの稼働率は、3か月前とさほど変化なく低水準ではあるものの、主要客からの派遣案件や受託案件の引き合いが増えた。
○	アウトソーシング企業 (エリア担当)	・北米や中国の自動車販売が共に好調に推移し、生産における仕事量も確保でき順調に進んでいるが、半導体不足による影響を懸念している。
□	化学工業 (営業担当)	・引き続き半導体メーカー向け電材需要が好調である。
□	輸送用機械器具製造業 (総務経理担当)	・需要自体はもっと強いが、半導体不足のために自動車の生産が進まず減産せざるを得ない状況である。

## 2. 景気の先行き判断（2～3ヶ月先の見通し、方向性）

### （1）D Iの動向

- 2～3ヶ月先の景気の先行きに対する判断D I（各分野計：季節調整値）は、前月差+8.7ポイントの55.3と2ヶ月連続で上昇した。先月に続き、ワクチン接種が進むことによる改善が期待されている。
- 部門別に見ると（原数値）、家計動向関連（小売、飲食、サービス、住宅関連）D Iは、同+9.9ポイントの53.5と2ヶ月連続で上昇し、横ばいを示す50を4ヶ月ぶりに上回った。企業動向関連と雇用関連からなるD Iは、同+7.3ポイントの55.0と2ヶ月連続で上昇し、横ばいを示す50を4ヶ月ぶりに上回った。



## (2) 先行き判断理由の概要

(注) コメント引用部左側の記号は以下の通り

◎:良くなる、○:やや良くなる、□:変わらない、▲:やや悪くなる、×:悪くなる

### 【家計動向関連】

▶ ワクチン接種が進み景気が上向いていくとの期待がみられる。

◎	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が向上して景気は良くなると思う。
○	百貨店（企画担当）	・当地では高齢者のワクチン接種、職域接種が順調に進んでいると聞いており、接種を済ませた人数が増えれば増えるほど消費者の気持ちが前向きになって、旅行や人との接触到積極的に become と思われる。
○	衣料品専門店（売場担当）	・ワクチン接種が進むなか、高齢者の接種率が高まっている。時間や金銭に比較的余裕があると見込まれる高齢者による個人消費が高まると、景気は回復するのではないかとと思われる。
○	乗用車販売店（従業員）	・まだワクチン接種が高齢者にとどまっているが、今後若者を含め接種者が多くなってくれば、店頭に客を積極的に誘致できるようになると思う。これまで会って話ができなかった分、客の動きが活発になることを期待する。
○	一般レストラン（経営者）	・ワクチン接種率が国民の50%以上くらいになれば、自然と感染者数も減ってくると思う。そうなれば景気もう一度持ち直してくる。
○	観光型ホテル（経営者）	・現在加速度的にワクチン接種が進んでいる。ワクチンはかなり抑止効果があり重症化が抑えられる。感染者数が減れば外へ出るという動きが徐々にすることは明白で、今後は今よりは改善に向かうことが十分に考えられるため、景気はやや良くなる判断した。とにかく、飲食・外出に対する抵抗感の減少がマスク等では報知されれば、かなり影響があつて景気が上向くと感じている。

### 【企業動向・雇用関連】

▶ 企業動向・雇用関連でもワクチン接種が進むことへ期待が多く見られる。

○	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・秋以降に増産する方向であるという話が、業界では漏れ伝わってきている。
○	金融業（従業員）	・ワクチンの職域接種等により接種率が上がることで、日常生活が戻っていくのではないかと考える。また、東京オリンピック開催に対する経済活動が生まれるのではないかと考える。
○	不動産業（経営者）	・今後は新型コロナウイルスのワクチン接種が進み徐々に外出する人が増加すると予想しており、売上は徐々に回復していき前年を上回ると思われる。
○	広告代理店（制作担当）	・ワクチン接種がほぼ完了するという前提で、イベント等の再開も回復してくると思われる。
○	アウトソーシング企業（エリア担当）	・国内の自動車販売数はおおむね回復し、特に新型車種の生産ラインにおいては多忙である。ただ、採用者を見込めず人手不足が続く。
○	職業安定所（職員）	・ワクチン接種が自身の回りでも進んできており、飲食・宿泊等での求人増加が期待できると思う。
○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス発生以前の水準には戻っていないが、製造業を中心に求人は増加している。

## 景気ウォッチャー調査について

- 景気ウォッチャー調査は、内閣府が月次で公表する景況調査で、百貨店売場担当者、タクシー運転手、企業経営者など地域の景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々に景気の方角性、水準についての見方を回答してもらい、その結果を集計公表するサーベイ調査である。
- 調査は毎月、当月時点であり、調査期間は毎月 25 日から月末である。
- 調査対象の職種によって、「家計動向関連」、「企業動向関連」、「雇用関連」に区分し、区分毎に、集計結果を公表している（地域別は各分野計、家計動向関連のみ公表）。
  - 「家計動向関連」：商店街代表者、百貨店担当者、タクシー運転手、美容室従業員など
  - 「企業動向関連」：製造業経営者、非製造業経営者など
  - 「雇用関連」：人材派遣会社社員、職業安定所職員など
- 主な調査項目は、次の 3 項目。
  - (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
  - (2) 景気の先行きに対する判断（方向性）
  - (3) 景気の現状に対する判断（水準）
 (1) (2) については、判断の理由についても回答を求めている。
- 上記調査項目について、下記の 5 段階の判断を求め、回答結果をもとにそれぞれ点数を与え、これを各回答区分の構成比に乗じて D I を算出している。回答者全員が「変わらない」と答えた場合、D I は 50 となるため、D I = 50 が景気の横ばいを示すこととなる。

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
評価	良くなる (良い)	やや良くなる (やや良い)	変わらない (どちらとも いえない)	やや悪くなる (やや悪い)	悪くなる (悪い)
点数	+ 1	+ 0. 7 5	+ 0. 5	+ 0. 2 5	0

(出所) 内閣府HP

- 全国各地の地域ブロック毎に集計・分析をおこなっており、東海地区は、岐阜、静岡、愛知、三重の 4 県が対象となっている。

※調査の詳細については、内閣府HP、「景気ウォッチャー調査」報告書をご参照ください。

### － ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。